

令和7年度 第1回福部地域振興未来会議 議事概要

- 日 時 令和7年8月6日（水） 9：00～10：45
- 会 場 福部町総合支所 2階 第2・3会議室
- 出席委員 上山弘子、宇山英俊、岸本正枝、谷口孝義、中川玄洋、中島幹夫、西田一幸、濱田 香、松田浩稔（順不同敬称略）
- 欠席委員 岩崎幸子、加藤美幸、西尾祥幸（順不同敬称略）
- 事務局 米澤支所長、福山副支所長兼地域振興課長、瀬戸川産業建設課長、水戸口市民福祉課長
山田地域振興課長補佐

1 開 会

2 議 題

(1) 循環バスの運行ルート延伸の運用開始について

（鳥取市社会福祉協議会福部町総合福祉センター：山本所長）

～資料に沿って説明～

らっちゃんバスの運行ルートについて、8月1日から、午前2便、午後3便、合計5便について、砂丘温泉ふれあい会館から鳥取砂丘ビジターセンターまでのルート延伸を開始したこと、また、観光客も利用できるようになった。

【委 員】 観光客への周知方法はどうか考えているか。

【鳥取市社会福祉協議会福部町総合福祉センター】

社会福祉協議会のホームページで時刻表を公開し、JR入口付近にも時刻表の掲示を依頼したいと考えている。また、ホームページ上にQRコードを貼り付け、読み取れるようにしたいと考える。

【委 員】 鳥取駅から砂丘へのアクセスは整っているが、豊岡方面からの利用者に対する周知方法については考える必要がある。岩美駅や観光協会に情報提供してはどうか。

【鳥取市社会福祉協議会福部町総合福祉センター】

定期的に情報提供していきたい。

【委 員】 後ろ向きな発言になるが、砂丘までのアクセスがある時間帯以外は観光できる場所もなく、不便ではないかと心配する。鳥取砂丘の最寄り駅は福部駅ではなく鳥取駅と表示されるべきだと思う。

【委 員】 地元の方はもちろん、多くの方に利用してもらえるように観光協会などへの情報発信はしっかりしてほしい。

【会 長】 利用拡大のため、委員の皆様も周知を行っていただきたい。

(2) 第12次鳥取市総合計画及び第3期鳥取市創生総合戦略（鳥取市地方創生アクションプラン）の策定について（地方創生推進室：西田室長、遠藤室長補佐）

～資料に沿って説明～

まちづくりにおける計画の最上位に位置付けられる鳥取市総合計画に沿ってまちづくりを進めている。令和8年度から始まる第12次鳥取市総合計画の策定と地方創生や人口減少対策を効果的に実行していくための施策をまとめた創生総合戦略の策定を進めている。

【委員】 子育て世代からすると、子供に関する施策が気になる。また、公共施設の縮小についてはどうなっていくのか。

【地方創生推進室】

31の基本施策の中に「結婚・出産・子育て支援」、「教育の充実・郷土愛の醸成」など具体的な施策を盛り込んでいこうと思っている。その中で子育て世代への支援として、子供の医療費の無償化や保育料の減免などの具体的な施策を計画の中でお示ししようと考えている。

10月に市民政策コメントを実施する予定であり、市民の皆さまからのご意見をいただきたい。

また、人口が減っていく中で公共施設を維持していくのは難しく、縮小を考えていく必要がある。19ページに効率的な行財政運営とあるが、ファシリティマネジメントの考え方も取り入れて、今後の公共施設のあり方について市民の方との対話を進めていくべきだと考えている。合併地域は主に中山間地域であり、魅力ある地域資源を活用した取組を基本施策に取り入れたい。総合計画は市全体の計画になるため、実施計画の中に示していこうと考えている。また、個別に策定されている地域未来プランに盛り込まれていくと考える。

【委員】 人口の将来展望で、2045年の合計特殊出生率が2.07まで上昇するだろうか。

【地方創生推進室】

国の将来的な人口ビジョンが示されており、鳥取県も含め、国の展望に準じて作っている。具体的には結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援をさらに強化し、出生数の減少をある程度抑え、若い世代の雇用の場を確保して、社会動態の転出超過をpushしていく。特に若者・子育て世代の減少を抑えていきながら、子供の数を増やしていきたいという展望である。

【委員】 それであれば、かなり優遇された施策を打ち出す必要があるのではないかと。環境整備も大切で実際の子育て世代に聞いてみないと必要としている部分が見えない。

【委員】 結婚しない女性が多い。今後の展望はあるのか。

【地方創生推進室】

高いハードルであると考えている。出生数の改善は鳥取市だけが頑張れば達成できるものではない。国にも少子化対策に取り組むように要望しており、また自然動態の改善

だけではなく、社会動態の改善というところは若者や女性に選ばれる魅力的なまちを作
ることは今後も引き続き取り組んでいく必要がある。

特に若い世代は進学で転出していくが、教育の中で郷土愛の醸成に取り組み、鳥取市
の魅力を再認識してもらい、子育て世代・若い世代にも子育てしやすい町だと思ってい
ただけのような取組を施策として実行していく必要がある。

【委員】 成功例はないか

【地方創生推進室】

鳥取県内では日吉津村が米子市のベットタウンであり、大企業の立地や大きな商業施
設があるため、雇用環境があり比較的人口が減らず増えているところである。全国でも
特色ある取組を行っているところは多くあるが、鳥取市の規模で大きな政策を打ち出せ
ていない。鳥取市の規模で人口減少を抑えていくには、魅力あるまちづくりを進めてい
くことだと考える。

【会長】 もう少し読み込まないと意見を出しにくい。意見があれば10月の市民政策コメントで
対応してほしい。

【地方創生推進室】

10月から始める市民政策コメントでは、基本計画と具体的な取組としての施策が入っ
たものを見てご意見等いただきたい。

(3) 鳥取市景観計画改定に向けた重点整備地区の候補地について

【会長】 第1回福部地域振興未来会議で福部地域において新たな重点区域候補地の抽出につい
ての説明を受け、今回の会議で提案したい候補地があれば教えて欲しい。

【委員】 桜の木を植えたいが、どれくらいの予算規模まで対応してもらえるのか。

【事務局】 担当課の職員が不在のため、予算規模は把握していない。今回は候補地を都市企画課
に伝え、重点区域としてふさわしいかを検討していただき、次回の会議で審査結果を報告
していただく形としたい。

【委員】 左近地区は山の木を伐採している。そこに桜の木を植えたらきれいになるが、結構な
予算が必要になるのではないかと考える。

【委員】 前回の説明で次世代に残したい景色や場所を候補地として追加するような話だった。
今から桜を植えるのでは趣旨が違うのではないか。今あるものをブラッシュアップして、
さらに見せる景観にするべきなのではないか。それであれば、耕作者の理解や協力が必要
である。棚田風景を残す方がいい。

【委員】 耕作放棄地が増えており難しい。

【事務局】 鳥取砂丘は自然公園法で指定されている区域のため、鳥取砂丘周辺を除いた区域で次世代に残したい候補地があれば挙げていただき、それを審査して、鳥取市景観計画の中で新たに指定するかを検討するもので、大きな予算を伴うような話ではなかったと思う。多少の維持管理的な経費は負担可能かもしれないが、担当課が来ていないので詳細は分からない。先ほど言われた棚田、昔ながらの農村地域の景観をブラッシュアップして、少し桜を植えるとかであれば検討の余地はあると思う。

【委員】 岩戸のサンセットロードも夕日がきれいに見えるスポットがある。また、多鯨ヶ池周辺には観光農園もたくさんあり、梨の花もきれいである。

3 その他

【事務局】

雨水貯留タンク設置について

・河川流域付近の家屋や集会所などの施設に雨水貯留タンクを設置することで、大雨の際に河川への流出を少しでも抑制することができる。今回は展示という形で、支所の玄関前へ8月18日から11月中旬の公民館まつりの頃までの設置を考えている。

第39回鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会&ウォーキングについて

・10月26日（日）、鳥取砂丘オアシス広場で開催するため準備を進めている。各団体様には、スタッフとして協力をお願いしている。

【委員】 雨水貯留タンクを設置することで、降り始めの雨は汚いが、30分くらい経過すれば水道水が止まった時のトイレの水などに利用することができ、防災対策にもなる。

【委員】 鳥取県の河川課は地域住民に理解を深めてもらうため、周知を図ろうとしておられる。希望する集落の集会所に設置してもらえないか。

【事務局】 鳥取県が支所以外に、もう1ヶ所集会所への設置を考えている。

【委員】 福部となりのがっこうなどの近況共有

～資料に沿って説明～

学校関係（コミュニティスクール関係・部活動の地域移行・資源回収BOX・環境整備）、空き家調査や福部駅前のトイレ掃除についての近況説明

【委員】 資源回収は保育園の前の回収BOXに持って行っていたが、学校に持って行くのであれば、どのような手続きが必要か。

【委員】 手続きは不要。時間指定は無い。いつでもだれでも入れるため、防犯カメラを設置している。

4 閉会